評価結果の公表
施策名　地域資源を生かした健康づくりの推進

１　第６次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	地域資源を生かした健康づくりの推進
主管部局	健康未来部
主管課	健康増進課
関係課	健康未来政策課、健康増進課

２　施策が目指す大府市の姿

内容	健康都市として蓄積してきた専門的な知識や施設、市民の健康に対する高い意識などの資源を生かしながら、全ての市民が主体的に健康づくりに取り組むことができる環境を整えることで、健康寿命を延ばし、ＱＯＬ（生活の質）を向上させるまちになっています。

３　令和 6年度　施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 6決算	R 7予算
(1)人件費	113,161	0
(2)事業費	963,308	29,784
フルコスト（歳出合計）	1,076,469	29,784
歳入（お金の出所）	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	101,548	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	50,903	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	191,176	1,181
(5)一般財源（市税収入など）	621,958	28,603
歳入合計	965,585	29,784

４　「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標１

指標名	健康寿命（現状値：男性 79.64年、女性 83.52年、平均 81.58年）									単位	年
										現状値	81.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績値	0.1	0.0	△0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	「健康寿命の算定方法の指針」により算出した平均寿命と健康寿命について、当該年度と現状値の差（伸び）を実績とする。算定式は「（当該年度の健康寿命-現状値の健康寿命（81.58年））－（当該年度の平均寿命-現状値の平均寿命（84.21年））」とし、男女の平均値を入力する。 ※令和６年度から、出典を国保データベースに変更する。										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	男女ともに、平均寿命・健康寿命ともに現状値から延伸しましたが、平均寿命・健康寿命ともに同期間延伸し、健康寿命の増加分が平均寿命の増加分を上回ることはできませんでした。 市民の健康づくり及び介護予防の取組を推進し、健康寿命の延伸につなげていく必要があります。										

有効性指標２

指標名	新規要介護認定者の平均年齢									単位	歳
										現状値	79.1
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	79.2	79.2	79.3	79.3	79.4	79.5	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0
実績値	79.2	79.0	80.4	80.9	81.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	新規要介護認定を受けた人の平均年齢（知多北部広域連合から提供される数値）										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	指標は徐々に上昇し、目標指標を上回っています。 引き続き、低下することのないよう、各種事業を行ってく必要があります。										

評価結果の公表
施策名　地域資源を生かした健康づくりの推進

有効性指標３

指標名	「日頃から健康づくりに取り組んでいる」市民の割合									単位	%
										現状値	66.7
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	67.0	67.0	69.0	69.0	71.0	71.0	73.0	73.0	75.0	75.0	75.0
実績値	0.0	66.0	0.0	64.6	65.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	市民意識調査で「日頃から健康づくりに取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価											

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
健康づくり推進事業	健康増進課	30,215 (30,215)	指標名	日常生活において歩行又は同等の身体活動を１日１時間以上実施している人の割合	妥当性	B
			単年度計画値	60.0	有効性	B
			単年度実績値	52.0		
			単年度達成率	86.7%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	80.0%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	健康づくりを推進する上で、生活に運動を取り入れる人や朝食で野菜を食べる人の割合を増やすことが課題です。本人が意識することなく健康づくりに取り組むことができる環境づくりを意味する「０次予防」の視点を持って、事業内容の見直しや新たな啓発機会の創出を行います。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
母子健康診査事業	健康増進課	149,413 (149,413)	指標名	3歳児健診受診率	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	99.2		
			単年度達成率	99.2%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	99.2%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	共働きの夫婦も増え、健診自体の時間も長時間であるため、健診の実施内容を見直し、利用しやすい工夫を実施していきます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
成人健康診査事業	健康増進課	229,626 (229,626)	指標名	特定健康診査受診率	妥当性	A
			単年度計画値	57.2	有効性	A
			単年度実績値	63.0		
			単年度達成率	110.1%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	105.0%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	今後も特定健康診査及びがん検診等について、市が実施していく必要があります。					

評価結果の公表
施策名　地域資源を生かした健康づくりの推進

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
成人保健指導事業	健康増進課	4,598 (4,598)	指標名	ゲートキーパー養成研修延べ受講者数	妥当性	A
			単年度計画値	740.0	有効性	B
			単年度実績値	941.0		
			単年度達成率	127.2%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	134.4%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	本市の自死の現状やゲートキーパーの役割を全庁的に共有し、庁内連携と総合的な施策推進につなげていきます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
特定健康診査等事業	保険医療課	63,532 (63,532)	指標名	特定健康診査受診率	妥当性	A
			単年度計画値	60.0	有効性	A
			単年度実績値	63.0		
			単年度達成率	105.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	105.0%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	被保険者の健康増進のため、特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率の向上に努めます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
介護予防事業	健康増進課	62,514 (62,514)	指標名	健康長寿塾参加者数	妥当性	A
			単年度計画値	5,460.0	有効性	A
			単年度実績値	7,447.0		
			単年度達成率	136.4%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	136.4%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	通いの場の健康教育では参加者に対してアンケートを実施しているが、参加者の意識を高めるために結果をフィードバック実施していく。糖尿病性腎症重症化予防の受診勧奨では、重症化予防の観点からHbA1cだけでなく血圧が高い方に対しても受診勧奨を行っていく。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
感染症予防事業	健康増進課	556,217 (556,217)	指標名	麻しん風しん（MR）第１期接種率	妥当性	A
			単年度計画値	100.0	有効性	A
			単年度実績値	91.6		
			単年度達成率	91.6%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	91.6%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	医療機関と連携し、予防接種を効率よく実施していけるように努めていきます。					

評価結果の公表
施策名　地域資源を生かした健康づくりの推進

６　施策の事後評価

現状認識（施策をとりまく状況の変化や課題等）	少子高齢化、女性の社会進出による共働き世帯の増加等、近年の生活環境が著しく変化をしています。その中で、心身ともに健康で過ごす意識が置き去りにされることが無いよう、健康増進を進める必要があります。
施策の推進に向けた今後の方針	様々な生活環境におかれた人にも健康増進に取り組めるよう、産学、団体等と連携して市民や企業向けの健康増進り組みを実施します。 また、健診事業の充実や受診しやすい環境づくりを促進し、受診率の向上を図ります。 地域資源を活用し、魅力ある事業を積極的に進めていきます。

評価結果の公表
施策名　健やかな暮らしを支える連携の強化

１　第６次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	健やかな暮らしを支える連携の強化
主管部局	福祉部
主管課	高齢障がい支援課
関係課	健康増進課、高齢障がい支援課

２　施策が目指す大府市の姿

内容	保健・医療・福祉に関わる連携が進み、全ての市民が最期まで「健康都市おおぶ」で暮らしたいと思えるまちになっています。

３　令和 6年度　施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 6決算	R 7予算
(1)人件費	31,423	0
(2)事業費	1,138,302	5,317
フルコスト（歳出合計）	1,169,725	5,317
歳入（お金の出所）	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	4,940	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	23	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	93,186	0
(5)一般財源（市税収入など）	1,040,153	5,317
歳入合計	1,138,302	5,317

４　「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標１

指標名	「かかりつけ医を決めている」市民の割合									単位	%
										現状値	71.2
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	72.0	72.0	73.0	73.0	74.0	74.0	74.5	74.5	75.0	75.0	75.0
実績値	64.9	64.9	69.2	69.2	70.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	市民意識調査で「かかりつけ医を決めている」と答えた市民の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	「かかりつけ医を決めている」と回答した市民の割合は上昇していますが、実績値は計画値を下回っています。 健康診査や予防接種等で地域の医療機関を利用する機会も増えており、かかりつけ医を決める一助になっています。										

有効性指標２

指標名	「幸福感のある」高齢者の割合									単位	%
										現状値	54.6
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
実績値	54.3	54.3	53.5	53.5	53.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	健康とくらしの調査（知多北部広域連合の日常生活圏域ニーズ調査）で「現在どの程度幸せか（10段階）」という設問に対し「8点以上」と答えた高齢者の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	この調査は、日本老年学的評価研究機構により３年に１回行われています。（令和４年度調査、次回は令和７年度）。 計画値を実績値が下回っており、前回調査時より割合が下がっています。新型コロナウイルス感染拡大の影響があると考えられますが、調査項目として設定されている健康診査数値、サロン参加者数、要介護認定者数などの値が上昇するよう、事業を推進していく必要があります。										

評価結果の公表
施策名　健やかな暮らしを支える連携の強化

有効性指標３

指標名	在宅（自宅及び老人ホーム）の死亡率									単位	%
										現状値	26.1
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	35.0
実績値	24.7	34.0	31.5	32.7	34.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	愛知県衛生年報で年間の死亡件数における死亡場所が「自宅」又は「老人ホーム」の者の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	前回調査時より割合が上がっており、実績値は計画値を上回っています。 高齢化により老人ホームの入所などが増加していると考えられます。										

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
在宅医療介護連携推進事業	高齢障がい支援課	22,982 (22,982)	指標名	在宅療養支援診療所数（在宅医療実施医療機関を含む）	妥当性	A
			単年度計画値	33.0	有効性	A
			単年度実績値	23.0		
			単年度達成率	69.7%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	63.9%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	将来需要に対応できるよう、在宅医療介護連携を構築する必要があります。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
介護保険事業	高齢障がい支援課	1,126,277 (1,126,277)	指標名	要介護・要支援認定者数	妥当性	A
			単年度計画値	3,921.0	有効性	A
			単年度実績値	3,713.0		
			単年度達成率	94.7%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	80.2%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	高齢者人口の増加に備え、事業を引き続き推進していきます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
健康都市推進事業	健康未来政策課	23,361 (23,361)	指標名	「健康都市おおぶ」推進会議回数	妥当性	B
			単年度計画値	2.0	有効性	A
			単年度実績値	3.0		
			単年度達成率	150.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	150.0%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	プランの改訂作業を通じて、今後の課題として整理した「働く世代の健康づくり」や「若年層や働く世代の食生活改善」、「特性に応じた自死対策」などについて、目標の達成に向け、必要な施策を検討・推進していきます。					

評価結果の公表
施策名　健やかな暮らしを支える連携の強化

６　施策の事後評価

現状認識（施策をとりまく状況の変化や課題等）	施策全般にわたって新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がありましたが、人の移動や交流が活発化していると考えられます。
施策の推進に向けた今後の方針	人の移動や交流が活発化していますが、より一層、高齢者の健康増進、社会参加の拡大をすすめ、貢献寿命を延伸する必要があります。

評価結果の公表
施策名　安心を支える医療制度の充実

１　第６次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	安心を支える医療制度の充実
主管部局	福祉部
主管課	保険医療課
関係課	保険医療課

２　施策が目指す大府市の姿

内容	国の医療制度改正への的確な対応や医療費の適正化などを進めることで、市民が健康上の不安がなく、病気になっても安心して医療を受けることができ、いきいきと暮らせるまちになっています。

３　令和 6年度　施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 6決算	R 7予算
(1)人件費	34,440	0
(2)事業費	9,098,130	2,014
フルコスト（歳出合計）	9,132,570	2,014
歳入（お金の出所）	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	33
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	4,121,073	1,980
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	0	0
(5)一般財源（市税収入など）	4,977,057	1
歳入合計	9,098,130	2,014

４　「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標１

指標名	１人当たり年間医療費									単位	円
										現状値	346,210.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績値	357,336.0	389,363.0	395,473.0	417,415.0	415,119.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	国民健康保険事業状況報告書（事業年報）における療養給付の費用額 ※「愛知県平均以下」を目標としているため、毎年度、愛知県平均が算出された後、単年度の計画値と実績値を併せて入力する。										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	1人当たり年間医療費は、令和2年度に一時的に減ったものの、過去3年間を見ると年4%前後の増加傾向が続いていましたが、令和6年度は令和5年度に比較して、0.6%減少しました。しかし、愛知県平均は本市より低く、本市と愛知県平均との差は依然として縮まらない状況にあります。										

有効性指標２

指標名	特定保健指導対象者の減少率（国保：平成20年度比）									単位	%
										現状値	25.5
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0	29.0	29.5	29.5	30.0
実績値	24.1	24.6	27.6	24.1	24.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	（H20年度特定保健指導対象者推定数－該当年度特定保健指導対象者推定数）/H20年度特定保健指導対象者推定数×100										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	特定健診の受診率、特定保健指導の利用率はいずれも県平均を上回っていますが、特定保健指導を実施した方が翌年度に特定保健指導の対象者でなくなる割合は県平均を下回っています。（大府市保健事業実施計画より）　特定保健指導の効果を上げることが課題といえます。										

評価結果の公表
施策名　安心を支える医療制度の充実

有効性指標３

指標名										単位	
										現状値	0.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価											

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
障がい者医療費支給事業	保険医療課	270,771 (270,771)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	296,195.0	有効性	A
			単年度実績値	262,196.0		
			単年度達成率	88.5%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	障がい者医療費受給者が安心して生活できるよう、医療費助成を継続実施します。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
後期高齢者福祉医療費給付事業	保険医療課	137,997 (137,997)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	147,052.0	有効性	A
			単年度実績値	132,705.0		
			単年度達成率	90.2%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	後期高齢者福祉医療受給者が安心して生活できるよう、医療費助成を継続実施します。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
県広域連合負担金事業	保険医療課	919,651 (919,651)	指標名	広域連合負担金	妥当性	A
			単年度計画値	837,959.0	有効性	A
			単年度実績値	918,031.0		
			単年度達成率	109.6%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	高齢者の医療を担う愛知県後期高齢者医療広域連合の円滑な運営のため、継続実施します。					

評価結果の公表
施策名　安心を支える医療制度の充実

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
子ども医療費支給事業	保険医療課	725,812 (725,812)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	804,405.0	有効性	A
			単年度実績値	702,918.0		
			単年度達成率	87.4%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	県の補助は外来は小学生まで、入院は中学生までが対象ですが、共に18歳年度末まで対象を拡大しました。高校生分（中学校卒業後）の助成については、入院は負担なし、通院は1割自己負担としていますが、18歳年度末まで全額助成をする自治体が増えています。医療ＤＸ推進による効率化と利便性向上のため、審査支払業務の委託先変更及び全国共通のシステム対応を令和9年4月に県内一斉に行う予定です。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
母子家庭等医療費支給事業	保険医療課	52,314 (52,314)	指標名	年間医療費助成額	妥当性	A
			単年度計画値	53,831.0	有効性	A
			単年度実績値	47,376.0		
			単年度達成率	88.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	母子家庭等医療受給者が安心して生活できるよう、医療費助成を継続実施します。医療ＤＸ推進による効率化と利便性向上のため、審査支払業務の委託先変更及び全国共通のシステム対応を令和9年4月に県内一斉に行う予定です。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
一般被保険者療養給付費給付事業	保険医療課	3,801,386 (3,801,386)	指標名	療養給付費額	妥当性	A
			単年度計画値	0.0	有効性	A
			単年度実績値	3,793.2		
			単年度達成率	－	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	団塊世代の被保険者の後期高齢者への移行及び、被用者保険の対象者拡大により、被保険者数の減少が見込まれます。被用者保険の適用拡大は令和17年度までに段階的に進められる方針が示されており、状況の変化を注視しながら適正な医療給付に努めます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
一般被保険者医療給付費分納付金負担事業	保険医療課	1,630,203 (1,630,203)	指標名	医療給付費分納付金	妥当性	A
			単年度計画値	0.0	有効性	A
			単年度実績値	1,628.0		
			単年度達成率	－	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	納付額の変化に注意を払いながら、医療給付費の納付を行います。保険税の県内完全統一化に向け、令和11年度を目標に納付金ベースの統一化が進められています。					

評価結果の公表
施策名　安心を支える医療制度の充実

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
医療費適正化対策事業	保険医療課	10,557 (10,557)	指標名	医療費通知	妥当性	A
			単年度計画値	25,500.0	有効性	A
			単年度実績値	24,015.0		
			単年度達成率	94.2%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	保健事業実施計画に基づき、被保険者の健康増進と医療費適正化のための保健事業を行います。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
後期高齢者医療広域連合納付金事業	保険医療課	1,593,082 (1,593,082)	指標名	後期高齢者医療広域連合納付金	妥当性	A
			単年度計画値	1,623.0	有効性	A
			単年度実績値	1,591.0		
			単年度達成率	98.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	高齢者の医療を担う愛知県後期高齢者医療広域連合の円滑な運営のため、継続実施します。					

６　施策の事後評価

現状認識（施策をとりまく状況の変化や課題等）	国民健康保険は、被保険者が減少、1人当たり療養給付費は増加という傾向が続いています。また、国の方針に従い保険税率等の県内統一化が進められています。後期高齢者医療保険は、被保険者の増加に伴い、県広域連合への納付金が増加傾向にあります。福祉医療は、全国現物給付化に向けた医療DX推進の方針に従い、令和9年4月に県内一斉に新たな仕組みへ移行予定です。
施策の推進に向けた今後の方針	適正な保険給付等を継続する一方で、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の方針や保健事業実施計画等に沿った医療費適正化に努めるとともに、マイナンバー制度をはじめとする医療DX推進等による効率化を進め、持続可能な制度運営をする必要があります。

評価結果の公表
施策名　文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

１　第６次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成
主管部局	市民協働部
主管課	文化スポーツ交流課
関係課	文化スポーツ交流課

２　施策が目指す大府市の姿

内容	文化芸術・学習活動を通して、人と人とのつながりを強め、豊かな心を育むとともに、全ての市民が生涯にわたって心身ともに健やかに過ごすことができるまちになっています。

３　令和 6年度　施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 6決算	R 7予算
(1)人件費	76,166	0
(2)事業費	978,142	180,754
フルコスト（歳出合計）	1,054,308	180,754
歳入（お金の出所）	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	3,795	0
(3)市債（市の借金）	22,300	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	69,781	0
(5)一般財源（市税収入など）	882,266	180,754
歳入合計	978,142	180,754

４　「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標１

指標名	「文化芸術活動の環境整備・支援に満足している」市民の割合									単位	%
										現状値	43.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	44.0	44.0	45.0	45.0	46.0	46.0	47.0	47.0	48.0	48.0	50.0
実績値	46.6	46.6	49.2	49.2	48.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	市民意識調査の「文化芸術活動の環境整備・支援」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	様々な文化芸術活動の環境整備・支援を継続しており、おおむね計画通り推進できていると思われます。										

有効性指標２

指標名	不読率									単位	%
										現状値	54.8
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	54.5	54.5	54.0	54.0	53.0	53.0	52.0	52.0	51.0	51.0	50.0
実績値	58.1	58.1	58.9	58.9	60.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	市民意識調査で「1か月以内に1冊も本を読まなかった」と答えた市民の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	ライフスタイルの変化による読書離れが進み、計画値を下回ったと思われます。最新の市民意識調査結果では、50歳代以上の不読率が高まっています。										

評価結果の公表
施策名　文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

有効性指標３

指標名	「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」市民の割合									単位	%
										現状値	47.9
年度	R２	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11	R12
計画値	50.0	50.0	51.0	51.0	52.0	52.0	53.0	53.0	54.0	54.0	55.0
実績値	42.1	42.1	44.0	44.0	43.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	市民意識調査で「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」ことに「愛着をもっている」又は「どちらかといえば愛着をもっている」と答えた市民の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和６年度の市民意識調査では、前回調査に比べ、「郷土の歴史・伝統に愛着をもっている」市民の割合が減少し、実績値が計画値を下回りました。新型コロナウイルス感染症による祭りの縮小等は徐々に解消されていますが、依然として、伝統文化に触れる機会が少なくなっていることが影響していると思われます。										

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
文化芸術支援事業	文化スポーツ交流課	62,245 (62,245)	指標名	文化活動補助対象事業数	妥当性	B
			単年度計画値	20.0	有効性	B
			単年度実績値	13.0		
			単年度達成率	65.0%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	65.0%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	今後も市民が文化、学習活動に取り組むための様々な支援や事業を実施し、市民と一緒に文化活動の振興を図ります。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
愛三文化会館管理事業	文化スポーツ交流課	337,627 (337,627)	指標名	文化施設の利用率	妥当性	A
			単年度計画値	85.0	有効性	B
			単年度実績値	74.2		
			単年度達成率	87.3%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	87.3%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	今後も指定管理者による施設管理や事業実施を行い、施設利用者へのサービス向上を図ります。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
おおぶ文化交流の杜管理事業	文化スポーツ交流課	529,881 (529,881)	指標名	文化・学習、市民交流の評価	妥当性	A
			単年度計画値	4.0	有効性	A
			単年度実績値	5.0		
			単年度達成率	125.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	125.0%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	今後も指定管理者による施設管理や事業実施を行い、施設利用者へのサービス向上を図ります。					

評価結果の公表
施策名　文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
文化財等保存伝承活用事業	文化スポーツ交流課	78,270 (78,270)	指標名	文化財補助件数	妥当性	A
			単年度計画値	5.0	有効性	A
			単年度実績値	6.0		
			単年度達成率	120.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	120.0%		
	事務事業の方向性					
	B：現状のまま継続					
	より魅力のある企画展、特別展等を実施することにより、入館者の増加に努めます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
歴史民俗資料館管理運営事業	文化スポーツ交流課	30,717 (30,717)	指標名	改修工事・修繕、工事設計監理委託件数	妥当性	A
			単年度計画値	1.0	有効性	A
			単年度実績値	2.0		
			単年度達成率	50.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	50.0%		
	事務事業の方向性					
	B：現状のまま継続					
	引き続き、歴史民俗資料館を円滑に運営するため、各種委託等を実施します。また、開館以来45年経過している施設の適切な維持管理のため、改修や修繕を実施していきます。					

６　施策の事後評価

現状認識（施策をとりまく状況の変化や課題等）	様々な文化芸術事業が愛三文化会館やおおぶ文化交流の杜等で開催され、市民が文化芸術に触れる機会が数多くあることで、市民の文化芸術活動に対する満足度が高まっています。一方、一部文化活動団体の中には、会員の高齢化に伴う会員数の減少が課題となっており、多方面から支援を行う必要があります。
施策の推進に向けた今後の方針	各年代のライフスタイルや市民ニーズに適応した様々な事業を推進していきます。今ある無形の文化的価値を次世代に継続し、他の事業への波及効果を考慮した事業運営の工夫をしていきます。

評価結果の公表
施策名　豊かで健やかなスポーツライフの創出

１　第６次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	ひとの健康
政策	こころもからだも元気に過ごせるまち
施策	豊かで健やかなスポーツライフの創出
主管部局	市民協働部
主管課	文化スポーツ交流課
関係課	文化スポーツ交流課

２　施策が目指す大府市の姿

内容	子どもから高齢者、障がい者、外国人など、誰もが気軽にスポーツに取り組むことができており、市民、地域、行政で連携しながらそれぞれのライフスタイルに応じた活動が推進されています。また、スポーツを通して健康づくりや地域とのつながりづくりができるまちになっています。

３　令和 6年度　施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 6決算	R 7予算
(1)人件費	39,732	0
(2)事業費	463,285	116,205
フルコスト（歳出合計）	503,017	116,205
歳入（お金の出所）	R 6決算	R 7予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	303
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	44,500	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	102,102	0
(5)一般財源（市税収入など）	316,683	115,902
歳入合計	463,285	116,205

４　「ひとの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標１

指標名	「週１回以上運動やスポーツに取り組んでいる」市民の割合									単位	%
										現状値	45.3
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	50.0	50.0	54.0	54.0	58.0	58.0	61.0	61.0	63.0	63.0	65.0
実績値	44.8	44.8	42.0	42.0	48.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	市民意識調査で「週1回以上運動やスポーツに取り組むこと」に「積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルスの影響も落ち着き、「週１回以上運動やスポーツに取り組んでいる」市民の割合は前年に比べ6ポイント増加しましたが、引き続き目標達成に向けて啓発を行う必要があります。										

有効性指標２

指標名	スポーツ競技団体の登録者数									単位	人
										現状値	7,182.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
計画値	7,700.0	8,000.0	8,200.0	8,400.0	8,700.0	8,900.0	9,200.0	9,400.0	9,700.0	9,900.0	10,000.0
実績値	4,944.0	5,313.0	5,873.0	5,761.0	5,796.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点の大府市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブＯＢＵエニスポ、大府市とうちゃんソフトボール連絡協議会に所属している会員数の合計										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	新型コロナウイルスの影響も落ち着きスポーツ協会やOBUエニスポの会員数が増加しました。引き続き目標達成に向けて啓発を行う必要があります。										

評価結果の公表
施策名　豊かで健やかなスポーツライフの創出

有効性指標３

指標名	スポーツ施設の利用者数									単位	人
										現状値	573,206.0
年度	R２	R３	R４	R５	R６	R７	R８	R９	R10	R11	R12
計画値	600,000.0	605,000.0	610,000.0	615,000.0	620,000.0	625,000.0	630,000.0	635,000.0	640,000.0	645,000.0	700,000.0
実績値	285,211.0	336,268.0	546,387.0	544,468.0	578,198.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算定式、データの出所等	基準日（3月31日）時点のスポーツ推進課が所管する市内のスポーツ施設（社会体育施設＋学校開放施設）の年間利用者数の合計										
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	大府市民球場の整備に伴いスポーツ施設の利用者数は増加しましたが、引き続き目標達成に向けて啓発を行う必要があります。										

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
生涯スポーツの推進事業	文化スポーツ交流課	21,417 (21,417)	指標名	レクリエーションスポーツ大会参加者数	妥当性	B
			単年度計画値	3,500.0	有効性	B
			単年度実績値	2,120.0		
			単年度達成率	60.6%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	53.0%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	長く続けている大会や教室で参加者数が伸び悩んでいます。内容を見直すとともにモルックやeスポーツといった新しいスポーツの普及・定着に取組むことで参加者数の増加に努めます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
競技スポーツの推進事業	文化スポーツ交流課	33,116 (33,116)	指標名	スポーツ大会開催数	妥当性	B
			単年度計画値	110.0	有効性	A
			単年度実績値	104.0		
			単年度達成率	94.5%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	94.5%		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	新たに整備した施設を活用して教室等を開催することで、これまで市で取り組んだことのない競技の競技人口の拡大、競技力の向上に努めます。					

事務事業名	課名	フルコスト（前年度比）	最重要指標		評価点	
スポーツ施設整備事業	文化スポーツ交流課	79,218 (79,218)	指標名	スポーツ施設整備数	妥当性	A
			単年度計画値	3.0	有効性	A
			単年度実績値	4.0		
			単年度達成率	133.3%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	－		
	事務事業の方向性					
	Ｂ：現状のまま継続					
	完成から長年が経過した施設が多く、老朽化が目立っています。不具合箇所は早急に修繕するほか、予防修繕についても計画的に取り組みます。					

評価結果の公表
施策名　豊かで健やかなスポーツライフの創出

<table>
<tr><th>事務事業名</th><th>課名</th><th>フルコスト
（前年度比）</th><th colspan="2">最重要指標</th><th colspan="2">評価点</th></tr>
<tr><td rowspan="7">スポーツ施設運用事業</td><td rowspan="7">文化スポーツ交流課</td><td rowspan="7">160,062
(160,062)</td><td rowspan="2">指標名</td><td>スポーツ施設数</td><td>妥当性</td><td>A</td></tr>
<tr><td rowspan="3">有効性</td><td rowspan="3">A</td></tr>
<tr><td>単年度計画値</td><td>31.0</td></tr>
<tr><td>単年度実績値</td><td>30.0</td></tr>
<tr><td>単年度達成率</td><td>96.8%</td><td rowspan="2">効率性</td><td rowspan="2">B</td></tr>
<tr><td>最終目標に
対する達成率</td><td>78.9%</td></tr>
<tr><td colspan="7">事務事業の方向性</td></tr>
<tr><td colspan="7">B：現状のまま継続</td></tr>
<tr><td colspan="7">″特定の曜日、時間帯で利用の希望が集中することがあり、利用者が希望する日時で施設を利用できないことがあります。施設を効率的に利用できる方法を検討する必要があります。
大府市民球場の運用については、管理や予約の方法に課題が残っているため、利用者の声を聞きながら改善を図る必要があります。″</td></tr>
</table>

６　施策の事後評価

現状認識（施策をとりまく状況の変化や課題等）	新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、「週１回以上スポーツに取り組んでいる」市民の割合や施設の利用者数は増加していますが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻っていません。
施策の推進に向けた今後の方針	コロナ禍でスポーツ活動をやめた方が活動を再開できるよう積極的に事業を展開するとともに、各スポーツ団体の登録者数が増加するよう団体の支援を継続します。